

< 府立高校改革推進計画に基づく >

# 第 2 次 実 施 計 画

平成 1 7 年 3 月  
京都府教育委員会

## 第2次実施計画

### 計画の趣旨

京都府教育委員会では、国際化、情報化などの社会の変化、生徒の個性化・多様化の進行、中学卒業生数の減少など、多くの課題にこたえるため、「府立高校改革推進計画」を策定し、これまで以上に多様で柔軟な教育システムの構築に向けて取組を進めてきています。

この推進計画に基づく具体的な計画は、計画期間（10年程度）の中で、複数回に分けて策定していくこととしており、平成15年7月には、第1次実施計画を策定し、府立洛北高校への中高一貫教育の導入、山城地域の選抜制度改善などの施策を具体化しました。

今回は第2次実施計画として、中高一貫教育の充実や新しい時代に対応する専門学科の充実、通学区域の弾力化、選抜方法の改善などの施策を具体化しました。

### 実施時期

平成18年度（平成18年4月入学者の選抜）

### 計画の内容

#### 1 新しい多様で柔軟な教育システムの構築

##### 中高一貫教育の充実

中等教育の一層の多様化、選択肢の拡大を図るため、府中部地域で「中高一貫教育」を実施します。

< 実施校 >	府立園部高校（中学校を併設）
< 中学校の通学区域 >	府内全域（京都市を除く。）
< 中学校の入学決定方法 >	面接、適性をみる検査、調査書等を用いて、総合的に決定

この他に、平成17年度八幡市における中高一貫教育に係る研究協議会を設置します。

##### 新しい時代に対応する専門学科の充実

自然科学系専門学科の新設  
最先端の科学技術の開発や人類が直面する課題にも挑戦する創造性豊かな人材の育成を図るため、理数教育に特化した自然科学系の専門学科を府域にバランス良く設置します。

< 設置校及び学科 >	府立桃山高校	自然科学科(仮称)
	府立南陽高校	サイエンスリサーチ科(仮称)
	府立亀岡高校	数理科学科(仮称)
	府立西舞鶴高校	理数探究科(仮称)
< 通学区域 >	各校とも府内全域	
< 選抜方法 >	一般選抜及び推薦入学（適性検査を実施）	
< 一般選抜の実施方法 >	単独選抜	

自然科学系の専門学科を設置する高校を「京都府グローバルサイエンスハイスクール」として指定し、先進的な理数教育や地域の特性を生かした理数教育の研究実践を行います。

商業に関する学科の改編  
ビジネスと情報に関する知識と技術を基盤として、IT時代における経営企画や起業に主体的に参画する人材を育成する新しい時代の商業教育を展開します。

< 改編する専門学科 >	府立大江高校「ソフト経済科」を「ビジネス科学科(仮称)」に改編
< 通学区域 >	口丹、中丹及び丹後通学圏
< 選抜方法 >	一般選抜及び推薦入学
< 一般選抜の実施方法 >	単独選抜

## 普通科の特色づくりと多様化

生徒の興味・関心を高める特色あるコースを設定する「普通科総合選択制」を導入します。

<実施校>	府立大江高校
<通学区域>	口丹、中丹及び丹後通学圏
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学
<一般選抜の実施方法>	単独選抜

## 2 主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善

### 通学区域の弾力化と新しい入学者選抜方法

#### 口丹・中丹・丹後通学圏の選抜制度改善

受験機会の複数化と多元的な評価尺度を取り入れた前期特色選抜を導入するとともに、一人一人の希望に応じた高校選択の範囲を広げるため、通学区域の弾力化を図ります。

<実施内容>	前期特色選抜の導入 ・高校の特色に応じた生徒を募集 ・自己申告書、面接、作文、報告書等による選抜 ・普通科第 類、第 類で募集定員の10%以内を募集 ・3通学圏内の普通科(類・類型制)を置くどの府立高校でも志願可能
	通学区域の弾力化 普通科の他通学区域から入学できる割合を拡大

#### 長期欠席者特別入学者選抜

不登校等による長期欠席生徒に係る報告書の評定を用いない特別選抜を実施します。

<実施校>	府立朱雀高校、府立城陽高校、府立西舞鶴高校
<通学区域>	府内全域
<選抜方法>	学力検査、面接及び作文 (中学校の評定は選抜資料として用いない。)
<出願要件>	中学校での欠席日数が、不登校等長期欠席によりいずれかの学年で30日以上ある生徒